



曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔N0.276〕

“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年12月③
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆ゴヘン

「夕焼け小焼け」

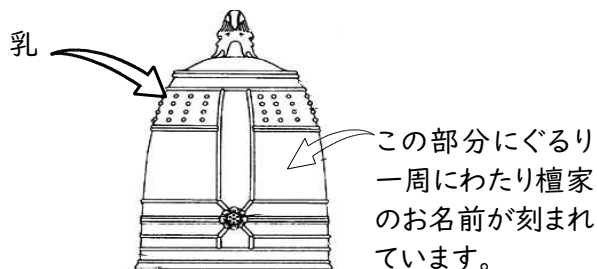
作詞 中村雨紅

夕焼け小焼けで日が暮れて
山のお寺の鐘がなる



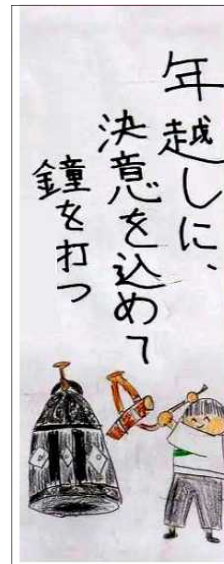
お寺にある大きなつり鐘を「梵鐘（ぼんしょう）」といいます。‘梵’とはインドの古い言葉サンスクリット語を音写したもので、‘清浄’を意味します。本山など広い僧堂では修行僧たちに時を知らせる大切な役割があります。細かく決められた撞く回数やタイミングを覚えるのがたいへんだったことを思い出します。

冒頭に、童謡「夕焼け小焼け」の歌詞をのせました。夕方になるとお寺の鐘が鳴るというイメージがあると思います。僧堂だけでなく、一般のお寺でも、昔から人々に時を知らせてきました。



梵鐘には、よく見るとさまざまな特徴があります。鐘の上部にはたくさんの突起があります。これは「乳（ち）」といい、鐘の音をきれいに響かせるためのものです。

長安寺の梵鐘は、戦後再鑄造されたもので、鐘に込められた願いなどの文字も鑄造されているほか、当時の施主の皆様のお名前が刻まれています。



まもなく大晦日。除夜の鐘が夜空に響きます。

鐘を撞くこと、またその音を聴くことは、煩惱を払うことと繋がります。

左は、以前勤務した学校で子供がかいたものです。煩惱を払ったその先を見据えています。

今年も大晦日の夜23時40分ごろから撞き始めます。

どうぞお出てください。

◆きもちを新たにスタートしましょう

「修正」と書くと、普通‘しゅうせい’と読みます。これに「会」という字を付した「修正会」は“ししょうえ”とよみ、お寺で一年の最初にお勤めする法要のことを指します。前年を反省し、心を正して、新しい一年の無病息災・平穏無事を祈念します。



檀家のみなさまは、この修正会が法要された日、あるいは三ヶ日や松の内に、“初詣”としてご本尊さまへお参りいただきますようご案内いたします。

最後になりましたが、本年も1年間ありがとうございました。次年もよろしくお願いいたします。